

# ココロにサプリ

広報メディア研究所代表 上野 弘子

第122回

SNSは怖くない?



「着いた」  
LINE(ライン)の短いメッセージが、息子から届いた。留学先のカナダ・ビクトリアに無事に到着したのだ。  
出発の数日前、ベルギーの空港で衝撃

的なテロ事件が起こったため、航空機での移動には通常よりも緊張感が伴い、着いたらすぐに知らせるようと言っていたのだ。

しばらくして、スマートホンに電話がかかってきた。ラインの無料通話だ。トランプもなく航空機を3度乗り継ぎ、予定通り目的地に着いたこと。ホストファミリーともすぐに会え、早速、大学の見学に連れて行ってもらったこと。日本に比べると気温は少し低けれど、郊外の庭付き一戸建てのステイ先は快適で、ホストマザーが夕食に用意してくれた料理も美味だったことなどを聞き、霧が晴れるように私の心配は一気に解決された。

ホームステイ先の家も、大学も、そしてわが家もWiFi(ワイファイ)にながっている。そのため約7000キロメートル離れたビクトリアとでもラインを使えば電話やメッセージ、画像、映像などのやり取りが無料で、いとも簡単にできるのだ。



Victoria July.2015



さらに、モードをビデオ通話に切り替えると、室内や窓の外の景色までもが、テレビ電話のようにリアルタイムでスマホの画面に映し出される。シンブルで清潔なイメージの部屋の外には、いかにもカナダら

しい緑豊かな景色が広がっていた。  
電話を切ったから、つくづく便利な世の中になったものだと感心した。特に、いくら長電話をしたところで無料という点が嬉しくてたまらない。



Victoria July.2015

10年前に、父をトルコで亡くし、種々の手続きと遺体の引き取りのために現地に赴いた際、滞在了したホテルから日本に数回かけた国際電話の通話料が10万円を超えていることを清算時に聞かされ、腰を抜かしそうになった経験がある。幸い、父が加入していた海外旅行保険で通話料もカバーしてもらえることになり胸をなでおろした。

その頃から通話料に極度に敏感になってしまった私は、スマホの契約を昨年「通話し放題」に変更するまでは、いつもビクビクしながら携帯電話をかけていたのだ。読者の皆さんには「なんとまあ肝っ玉の小さい人間なのだろうか」とあきれられそうだが…。

ところで、こんなに便利なラインやフェイスブック、ツイッターなどのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を、「怖いから」と敬遠している人が、私の周囲にも意外と多い。個人情報の一部

を登録する必要があるため、何らかのトラブルに巻き込まれることを危惧しているようだ。

確かに目に見えない空間で、世界中の人とつながることもできるSNSは、時には「なりすまし」に遭遇したり、真実ではない情報を流されたり、騙されそうになったりする可能性もある。しかし、ネット上のトラブルは、現実の世界で道を歩く時と同様に、周囲に注意をはらったり、自らの言動に気を付けたり、うまい話は疑ってかかることで回避できるものではないだろうか。

SNSが災害時に効果を発揮することは、すでに5年前の東日本大震災の時に立証され、先日起こった熊本地震の際にも安否確認や情報収集に大活躍したことは周知の事実だ。

便利で楽しい文明の利器は、利点と欠点を十分に理解したうえで使いこなせば、決して怖い存在ではないはずだ。